



しほろ議会だより

令和7年11月 No. 198 ■発行／士幌町議会
■HPアドレス <https://www.shihoro.jp/assembly/>

令和7年9月5～11日 第3回定例会



やまなかあきひろ
山中明裕議員
部活動地域移行の取組の現状と今後の
計画について



- P 2 ……令和7年第3回定例会
補正予算 ほか
- P 3 ……9月定例会に審議された結果
- P 4 ……一般質問に1名が登壇
- P 5～8…決算の審査
- P 9 ……委員会調査報告
- P 10 ……議員活動報告

議会広報研修会
～p 10に報告を掲載しています～

士幌町議会ホームページ、公式SNSはこちらからアクセスできます！

士幌町議会
ホームページ

Q しほろ議会

検索



士幌町議会
Facebook



士幌町議会
Instagram





令和7年第3回定例会

令和7年第3回定例会は、9月5日から11日までの会期で開会。

5日は行政報告、教育行政報告ほか総務文教常任委員会所管事務調査報告と議案7件、令和7年度各会計補正予算5件の審議を行いました。(9月6日～8日は議案調査のため休会)

9日は、1名の議員が一般質問に登壇。その後、令和6年度決算審査特別委員会を設置し、11日まで決算審査を実施しました。11日には、本会議を再開し、一般会計他4特別会計および3事業会計の歳入歳出決算の審査を認定、追加議案1件、一般会計補正予算1件、会議案1件、意見書案1件の審議を行い、全ての議件を原案のとおり可決しました。

人事案

【教育委員会委員の任命】

任期満了により、時光早苗氏の選任に同意しました。



ときみつ さなえ
時光 早苗 氏

条例案

【士幌町議会議員及び士幌町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例案】

公職選挙法施行令の改正により、条例を改正しました。

【へき地保育所条例を廃止する条例案】

令和8年3月31日で川西へき地保育所及び上居辺へき地保育所を閉所するため、条例を廃止しました。

各会計補正予算

一般会計、ほか4特別会計、の補正予算を可決しました。

主な補正内容は次のとおりです。(概ね100万円以上の補正予算のみ記載)

一般会計

【第5号】

▼冬期暖房費助成事業扶助費 920万円

▼介護サービス事業繰出金 736万円

▼十勝大雪森林組合出資金 287万円

国民健康保険事業特別会計

【第1号】

▼高額療養費 1,000万円

介護保険事業特別会計

【第2号】

▼国庫負担金返還金 1,539万円

▼道費負担金返還金 559万円

▼支払基金交付金返還金 1,911万円

介護サービス事業特別会計

【第3号】

▼修繕料 479万円



(旧川西へき地保育所)



(新こども園)

9月定例会に審議された結果は以下のとおりです

議案番号	件名	結果	賛・反
議報告第1号	総務文教常任委員会所管事務調査報告	了承	
議案第1号	北海道市町村総合事務組合規約の変更について	可決	全員賛成
議案第2号	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決	全員賛成
議案第3号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	可決	全員賛成
議案第4号	教育委員会委員の任命について	同意	全員賛成
議案第5号	損害賠償額の決定及び和解について	可決	全員賛成
議案第6号	士幌町議会議員及び士幌町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
議案第7号	へき地保育所条例を廃止する条例案	可決	全員賛成
議案第8号	令和7年度士幌町一般会計補正予算（第5号）	可決	全員賛成
議案第9号	令和7年度士幌町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	全員賛成
議案第10号	令和7年度士幌町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決	全員賛成
議案第11号	令和7年度士幌町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	全員賛成
議案第12号	令和7年度士幌町介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）	可決	全員賛成
認定第1号	令和6年度士幌町一般会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
認定第2号	令和6年度士幌町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
認定第3号	令和6年度士幌町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
認定第4号	令和6年度士幌町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
認定第5号	令和6年度士幌町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
認定第6号	令和6年度士幌町国民健康保険病院事業会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
認定第7号	令和6年度士幌町簡易水道事業会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
認定第8号	令和6年度士幌町下水道事業会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
追加議案第13号	損害賠償額の決定及び和解について	可決	全員賛成
追加議案第14号	令和7年度士幌町一般会計補正予算（第6号）	可決	全員賛成
会議案第4号	議員派遣の件	可決	全員賛成

▼意見書案

議案番号	件名	結果	賛・反
意見書案第8号	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	可決	全員賛成

※提出された意見書は、議会のホームページで閲覧できます。
意見書ページ



一般質問に 1 名が登壇

町民の声を町政に、
町政の
ここが聞きたい

やまなか

あきひろ

山中 明裕 議員

部活動地域移行の取組の現状と今後の計画について

9月定例会では1人の議員が一般質問に登壇し、教育長の考えを問いました。

内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載しています。

士幌町議会
ホームページ
会議録



部活動地域移行の現状と今後の計画について
士幌町学校部活動地域展開準備会で議論検討中です



やまなか あきひろ
【山中 明裕 議員】

質問

十勝管内の町村では、地域移行、地域連携、広域連携の三パターンで実施すると記事が出ていましたが、本町における地域移行の現状と今後の具体的な実施計画について伺います。

土屋教育長答弁

国や道から示された部活動の適正化、地域との連携、協働、地域移行の方向性に基づき早期の実現を目指し士幌町学校部活動地域展開準備会及び推進計画を策定しており、現在同準備会で議論しています。今後は、アンケート調査の実施も予定していますが、教職員、児童保護者、地域の方々等のご意見をいただきながら、地域展開をしていきます。

質問

町民の方や学校保護者、スポーツ団体の関係者からは、地域移行、地域連携についての詳しい説明がなく不安が増しているようですが、今までの流れを町の広報等で情報を知らせるべきと思われませんが、いかがでしょうか。

土屋教育長答弁

北海道教育委員会でも、地域展開に関する推進計画が変更されたり、地域展開の準備会も議論をしていたりしている状態なので、公表まで至っていませんが、今後町民の皆様にはその都度お知らせしたいと思います。

質問

全ての部活動の地域展開計画が完成されてからではなく、個人スポーツなどできるところから始めることが重要と思うが、いかがでしょうか。

土屋教育長答弁

一定のルールを定めた上で、できるところから始めていくという考えでいきます。

令和6年度

決算の審査

一般会計と4つの特別会計、3つの事業会計について第3回定例会に付託されましたので議長と監査委員を除く10名で構成している決算審査特別委員会（中村 貢^{なかもら みつぐ}委員長）で審査が行なわれました。決算審査の結果は議会に報告され、全員賛成で認定されました。質疑と答弁内容について要約してお知らせします。

質 疑	答 弁
【一般会計】	
『議会費』、『総務費』	
山中委員 ●ユートピアメールでドックランについて、どのような意見だったのか。	吉川産業振興課長 ●道の駅には小型犬のドックランがあるが、大型犬も可能なドックランを設置してほしいという内容のもの。
大西委員 ●議員視察について物価高騰により先進地視察の研修日数が短縮されており、旅費の見直しの必要性があるのでは。	藤内議会事務局長 ●旅費は12万～13万円を上限として定められている。 高木町長 ●宿泊・交通費の高騰を踏まえ、道内自治体の状況も参考に旅費打ち切り額の見直しを検討。
伊藤委員 ●条例定数285人に対し3月末の在籍260人が適正か、現行の適正人数の判断基準は。	西野総務課長 ●適正人数の判断は難しいが、業務増加、採用増・定年延長の影響により職員数は増加傾向。効率的配置と事務改善により町民対応時間の確保を目指している。
秋間委員 ●婚活推進について、従来のイベントを中止し、新たに助成を行う方針とした背景や、その実施にあたっての考え方を確認したい。	小野寺地域戦略課長 ●従来の婚活事業は参加のハードルが高く、若い世代の参加が難しかったため中止。代わりに、町内の複数団体が気軽に飲食を共にできる交流の場を設け、一部助成する形で出会いのきっかけを増やす新しい形式に変更した。
矢坂委員 ●今年度から電子証明書の有効期限を迎えるマイナンバーカードの周知・更新手続き状況は。	角田町民課長 ●マイナンバーカードの更新通知は国から送付され、今年度は5年目にあたる人が多いが、現在のところ混雑もなく順調に対応できている。
曾我委員 ●旧小学校施設等利活用推進事業で、2件の相談があったとのことだが、具体的にどのような内容だったのか。	小野寺地域戦略課長 ●相談の2件は町外からで、いずれも資料請求レベルの軽い問い合わせ。内容は、①学校を利用して商品の加工やインバウンド宿泊施設の検討、②ゲストハウス開設のための木造小学校の情報収集、いずれも実際の利用には至っていない。
山中委員 ●士幌町では、コンビニでの戸籍謄本や住民票の交付に対応していない。それをできるようにならないのか。理由を聞きたい。	角田町民課長 ●コンビニ交付導入にはサーバー設置や保守費用などで数千万円の初期費用と継続的な多額の費用がかかるため、財政面や利用者の少なさから実施していない。その代わりに、LINEでの申請や郵送・窓口での受け取りにより対応している。

質 疑	答 弁
大西委員 ●美濃市との交流イベント「土幌の空」が盛況だった一方で岐阜県人会が不参加であり、今後の方針は。 ●町が助成しているのに状況が不明なのは問題。存続できないなら新たに作るべき。検討してはどうか。	小野寺地域戦略課長 ●現在休会をしており、構成メンバーでの継続が困難と聞いている。総会開催や解散の詳細は不明。 高木町長 ●岐阜県人会には助成はしていない。
伊藤委員 ●町税の滞納一覧にある金額について、未納額や不能欠損額が含まれているのか確認したい。	角田町民課長 ●国外転出者の一部は即時に不能欠損処理されるが、滞納額一覧には基本的に含まれない。
大西委員 ●町内会未加入世帯の情報把握困難により災害時の救助に支障が出る懸念があり、町による対策を求む。 ●震度4以上の地震時に黄色い旗で無事を示す事例を参考に、救助活動を考慮した対応策の検討を求める。	西野総務課長 ●町内会加入の有無に関わらず、地域全体で連携し自主防災組織の支援と防災対応を検討していく方針。
『民生費』、『衛生費』	
西山委員 ●居宅介護支援事業費の相談内訳で苦情・その他が令和5年度42件から令和6年度79件に増加した理由は。	坂井介護計画係長 ●相談件数の増加は苦情ではなく、高齢者宅訪問時のエアコン設置助成に関する「その他」の相談が増えたため。
森本委員 ●令和6年度に2件の実績がある意思疎通支援事業の手話通訳派遣について、具体的な利用場面の説明をしてほしい。 ●災害時の即時対応を踏まえ、手話通訳に加え字幕やアプリ等を活用した意思疎通支援の充実を望みます。	佐藤保健福祉課長 ●令和6年度の手話通訳派遣は、聴覚障がい者1名に対し、しほろほのぼのホームで実施された火災・地震の防災訓練に対応した2件であった。
山中委員 ●土幌町におけるヤングケアラーの実態について、把握している情報があれば教えてほしいです。 ●ヤングケアラー以外でも、病気や就労困難な父子・母子家庭への子どもや家庭支援の助成・サービス内容とは。	佐藤保健福祉課長 ●土幌町では令和6年度、ヤングケアラーの相談実績はなく、該当児童はいないと見られている。 ●保護者が病気等を抱える家庭では子どもがヤングケアラーとなる可能性があり、保健福祉課が早期把握・相談対応・関係機関連携による支援を実施。
大西委員 ●町民の火葬費用2,500～3,000円を無料化できないか、財政的な理由で困難かどうかの確認を求む。	高木町長 ●管内の火葬場では無料化が進んでいる例もあるため、土幌町でも火葬料無料化を検討したい。
伊藤委員 ●高齢者熱中症対策エアコンの助成で、申請72件のうち5件が却下された理由は。 秋間委員 ●申請時に条件を十分説明し、当初の基準に基づく適正な運用を徹底すべき。	佐藤保健福祉課長 ●高齢者熱中症対策エアコン助成では、申請72件中5件が子世帯同居により条件不適合で却下された。 ●エアコン助成の周知は行っているが理解不足による不適合申請があり、今後は電話対応も含め条件を明確に説明していく方針。

質 疑	答 弁
『労働費』、『農林業費』、『商工費』	
伊藤委員 <ul style="list-style-type: none"> ●商品券助成事業で販売額8,999万円に対し回収額が1億189,000円で回収率100%とされる計算根拠と意味の説明が求む。 ●説明は理解できるが、表が実態を十分に反映しておらず、商品券の種類ごとに分類して分かりやすく示すよう改善を求める。 	木下商工観光労働係専門官 <ul style="list-style-type: none"> ●商品券の販売額は生活応援商品券8,699万円と飲食店専用商品券300万円の合計で8,999万円。町民へのプレミアム分は10%と50%の割増しで計1,019万9,000円となり、販売額と合わせて回収率の対象となる。
成田委員 <ul style="list-style-type: none"> ●土幌町雇用対策連絡調整協議会の相談件数が6件と少なく、今後の対応方針について教えてほしいです。 	吉川産業振興課長 <ul style="list-style-type: none"> ●平成30年設立の労働力確保協議会はコロナ禍で活動停滞し、今後は関係機関と連携しつつ存続・改編を検討する方針。
森本委員 <ul style="list-style-type: none"> ●エキノコックス感染対策の駆虫薬散布が良好な結果を示しており、今後の継続予定は。 ●エキノコックス対策として捕獲・予防接種・駆虫薬を併用し、町民への啓発を継続するよう求める。 	吉川産業振興課長 <ul style="list-style-type: none"> ●本年度も同じく実施しておりますし、来年度につきましても予算要求していきたいと考えてございます。
矢坂委員 <ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度で終了した鳥獣被害防止柵助成の復活を、鹿・ヒグマ対策として農家の要望やアンケート結果を踏まえ検討してほしい。 	吉川産業振興課長 <ul style="list-style-type: none"> ●鳥獣害防止対策協議会は総会で継続を決定し、調査を経て令和7～9年度の3年間助成を継続する予定。
大西委員 <ul style="list-style-type: none"> ●アライグマの増加について、土幌町の農業被害額を算定しているかどうか確認したい。 ●アライグマ対策として、わな捕獲の強化と町内外連携による貸出・設置拡大が必要ではないか。 ●アライグマは繰り返し同じ場所に罠がかかるため、継続設置による確実な捕獲対策の強化が求む。 	吉川産業振興課長 <ul style="list-style-type: none"> ●アライグマについては、被害状況を把握していない状況。 ●現在70基のわなを保有しており、今年さらに20基増設予定で、設置箇所を徐々に拡大しながら今後も対策を継続。
山中委員 <ul style="list-style-type: none"> ●労働諸費の資格取得支援事業助成金で、具体的にどの資格が取得されているのか教えてほしい。 	吉川産業振興課長 <ul style="list-style-type: none"> ●資格取得支援事業助成金は運転系や介護・土木分野など多様な資格を対象としている。
『土木費』、『消防費』	
秋間委員 <ul style="list-style-type: none"> ●遊水公園の野外ステージが危険な状態で放置され、修繕費の不用額があるにもかかわらず適切な対応がされなかった点について説明を求める。 	上山建設課長 <ul style="list-style-type: none"> ●遊水公園のステージは一部修繕では対応困難な箇所があり、安全確保と長寿命化を図りつつ修繕費も含めて今後の対応を検討。 高木町長 <ul style="list-style-type: none"> ●ステージ施設の修繕か撤去かを判断するため、現状を調査し費用面も含めて検討。
山中委員 <ul style="list-style-type: none"> ●遊水公園であずまや屋根の修繕・新設と小川の水位調整による安全な水遊び環境の整備を求む。 	上山建設課長 <ul style="list-style-type: none"> ●あずまや屋根修繕は費用見積もり後に検討し、水位調整は安全性と排水機能を踏まえ慎重に検討。
大西委員 <ul style="list-style-type: none"> ●消防団員の減少により災害対応が困難になる恐れがあり、町職員や農協職員の参加促進や機能別消防団の装備・補償の整備が必要。 	高木町長 <ul style="list-style-type: none"> ●職員や農協への消防団加入を引き続き働きかける一方、災害時の職務や機能別団員の服装についても消防署と協議し検討。

質 疑	答 弁
『教育費』、『公債費』	
山中委員 ● 検定業務を学校外で実施することで教職員の負担軽減と地域住民との交流促進を図れないか。	川岸教育課長 ● 検定助成事業は学力向上を目的に学校と連携して実施、今後も子供たちにとって最適な教育施策を重視しながら継続していく方針。
成田委員 ● 検定助成事業において、受検者数に基づく合格率を教えてほしい。	川岸教育課長 ● 可否については、こちらでは把握しておりません。
大西委員 ● 土幌高校の海外交流事業を中学生への報告やメディアでの発信により広く周知することで、学校の魅力向上と進学促進につながると思われるが。	土屋教育長 ● 現在は関係者向けに報告会を実施しており、今後は中学生への報告も含めて高校と連携しながらPRの可能性を検討。
【国民健康保険病院事業会計】	
大西委員 ● 総看護師長が予算時に語った研修計画は、この1年で成果を上げているか説明を求む。	福田総看護師長 ● 外来在宅療養支援や認知症看護、地域医療連携、医療的ケア児支援などを保健福祉課と連携して強化し、看護の質向上と成果の可視化に取り組んでいる。
大西委員 ● 地元以外から来ている看護師が多く、顔や名前が分からない。 ● 地域イベント等に参加して、住民と顔なじみになることで「行きやすい病院」にしてほしい。	福田総看護師長 ● 認知症マラソン、土幌の祭りなどに師長・副師長が参加しており、少しずつではあるが、地域参加を進めている。
大西委員 ● 町民に信頼される病院運営には赤字でも納得感が重要で、訪問・夜間診療の取組を広報で周知強化すべき。	高木町長 ● 5月から病院だよりにより院長の寄稿を掲載し、熱中症などタイムリーな話題で情報発信。広報ページ拡充の検討も含め、町民とのつながりを深める取組を継続していく。
【介護保険事業特別会計】	
大西委員 ● 介護保険基金が積み上がる中、将来の利用時期や公平性を踏まえ、町として適切な運用方針の検討が必要と思うが。	高木町長 ● 令和6年度は保険料を下げつつ1,500万円を準備基金に積立てたが、今後は高齢化に伴う給付増を見据え、基金の有効活用と保険料の適正化を図りながら介護保険事業を進めていく方針。
【介護サービス事業特別会計】	
大西委員 ● 特養の老朽化が進んでおり、「一気に大規模改修」か「部分的に少しずつ改修」か、対応方針は。	高木町長 ● 特養の修繕は休館を避け、入所者に配慮しながら部分的・段階的に進めて長寿命化を図る方針。
西山委員 ● 介護報酬の加算を戦略的に増やす方針は。	福田施設長 ● 加算取得には専門職配置などが必要で人件費増も伴うため、収支バランスを考慮しつつ他町と比較しながら報酬体系を検討している。

詳しい内容については会議録をご覧ください。
 決算審査特別委員会ページ



委員会調査報告

町の事務を合理的・効率的に調査するため、常任委員会（総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会）を設置し、各常任委員会は、担当する事務についてテーマを決めて調査を行います。調査結果については、本会議で報告します。

総務文教常任委員会

地域おこし協力隊について

【調査期日および場所】

令和7年6月30日（月）

役場3階委員会室

【調査の趣旨・目的】

総務省の地域活性化策の一つである「地域おこし協力隊」制度について、本町では平成26年度から募集を開始、平成27年度に3名の採用をして以来、現在までに16名が隊員として活躍している。

この度の所管事務調査では「地域おこし協力隊について」と題し、本町の実績および課題等について調査を行った。

【所感】

「地域おこし協力隊」制度について、本町においては平成26年度に初めての募集、平成27年度に3名の協力隊員を採用して以来、現在までに16名の隊員が活動している。任期終了後に定住や起業も期待されるが、本町では7名定住、1名が起業しており高い定住率となっている。

募集は町ホームページやJOIN（ふるさと回帰・移住交流推進機構）を通じて行い、採用については書類選考・面接によって、士幌町で働く意欲やそれまでの職種等経歴についても慎重に判断しながら行われている。現在は、十勝管内全体で隊員の任用数が募集人数を下回っている状況にあり、総合振興局として広域にPRする予定があることから、効果を見守りたい。

本町では、各課からの要望を集約し募集を行っているが、所属課に偏りの見られる採用もある。他自治体の成功例に対する研究や、町民の意見・要望についての確認を進めることで、政

ポイント

地域おこし協力隊の 地域要件について

地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いつつ、その地域への定住・定着を図る取組です。（総務省ホームページより）

この「都市地域」から「過疎地域等」へという地域要件が、協力隊の採用では非常に重要となり、実は士幌町の地域要件は「都市地域」に該当します。隊員を採用するには、住民票が東京・大阪・愛知を中心とした「3大都市圏」や札幌市などの政令指定都市などからの異動に限られています。

そのため、士幌町は近隣町村より隊員の採用のハードルが高く、工夫を凝らしたPRや積極的な周知、広報が重要になっています。

策に対してより効果のある採用を行っていただきたい。また、本町の高い定住率や活動事例を募集要項に掲載することで、申込者の関心を高める効果か期待できるため、実施について検討が必要である。

町内外に向けての活動の様子は、通信の発行やフェイスブック等を通して行われているが、町民との交流・意見交換・活動報告会などの機会が更に増えることを

望む。一方で、協力隊員への誤った認識や過度の期待等にも十分な配慮が必要であり、今まで以上に町民に広く理解される「地域おこし協力隊」制度活用を心掛けていただきたい。

今後も、多様な意見や肌感覚を持った「新しい風」である隊員の皆さんの活躍に、大いに期待したい。



議会広報クリニックに参加して

◇8月19日 ポールスター札幌

8月19日（火）札幌市において町議会広報委員対象に行われたクリニックに参加しました。講師は議会広報サポーター「芳野政明氏」で議会広報の基本について、また、具体的な作成方法についての内容でした。

具体的には、「議会広報誌は単なる活動報告ではなく、住民参加を促すための重要なツールである。以下の目標を意識することで、その役割を果たすことができる」としています。

- 1 関心の喚起…住民が町の課題や政策に関心を持つきっかけを提供する。
- 2 プロセスの可視化…民意が政策に反映されるプロセスを分かりやすく示す。
- 3 議会の役割理解…政策決定における議会の重要性を住民に理解してもらう。
- 4 投票行動への動機付け…最終的に、選挙の大切さに気づき、投票に行ってもらおう

ことへつなげる。

また、具体例として他自治体の優良事例を説明しながら、改善提案・注意点を述べていました。

1 小見出しや内容説明を充実させ、住民が理解しやすい紙面づくりを推進。

2 委員会レポートや審査報告は調査内容や決定事項を明確に記載。

3 余白を活かしたレイアウトで、詰め込みすぎない編集を心掛ける。

4 住民投票企画や住民参加型の特集を増やすことを提案。

今後、今クリニックを参考に町民にとって読みやすく、わかりやすく、さらに町民の住民自治に少しでも貢献できる議会広報を目指して参ります。

（山中委員）

議会日誌（令和7年7月1日～令和7年9月30日）

7月1日	令和7年度新農業後継者就農激励会 （議長・産業厚生常任委員長）	20日	産業厚生常任委員会所管事務調査
3日	令和7年第2回とかち広域消防事務組合議会臨時会 （議長）	21日	例月出納検査 （監査委員議員）
8日	令和7年度北海道町村議会議員研修会	27日	令和7年度農作物作況調査 （議長）
13日	陸上自衛隊第五旅団創立二十一周年・帯広駐屯地創設七十四周年記念行事 （議長）	29日	十勝町村議会議長・事務局長研修会 （議長）
17日	シートベルト着用推進キャンペーン旗なみ	9月1日	全員協議会
22日	例月出納検査 （監査委員議員）		議会運営委員会
23日	議会広報特別委員会	5日	第3回定例会（～11日）
26日	令和7年度札幌札幌会総会及び懇談会 （議長）		全員協議会
30日	札幌消防団指揮広報車 入魂式 （議長）		総務文教常任委員会
8月1日	異動辞令交付式 （議長）		産業厚生常任委員会
	第3回臨時会	9日	決算審査特別委員会（～11日）
	全員協議会	15日	令和7年札幌市社例祭（秋季大祭） （議長）
4日	議会広報特別委員会	18日	令和7年度敬老会 （議長）
17日	しほろ7000人のまつり	22日	例月出納検査 （監査委員議員）
19日	議会広報研修会	30日	議員研修会（ハラスメント研修）

議員活動報告

しほろ議会だより

No.198

令和7年11月28日発行

札幌市議会

〒080-1129

北海道札幌市東区南一条二丁目2番地
電話011-564(5)5218

広報特別委員会

委員長

山中明裕

副委員長

西山伸宏

中村貢

曾我弘美

成田哲也